

## 7病棟（周産期母子医療センター）

病床数：47床（産婦人科35床、NICU6床、GCU6床）

診療科：産婦人科・小児科

### 一人ひとりにあった支援と安心して退院できるようなサポート

産婦人科では正常分娩だけでなく、ハイリスク妊娠・分娩の患者さんも24時間体制で受け入れています。妊娠中から母親学級や両親学級を開催して、安全にお産ができるように支援しています。産後は、母乳育児の推進と育児技術の習得を目的に母児同室を行い、一人一人にあった支援を実施し、安心して退院できるようにサポートしています。NICUでは在胎週数34週以降の新生児を受け入れており、ディベロップメンタルケアや家族中心のケアに取り組んでいます。

スタッフ全員が患者さん中心の看護が行えるように、産婦人科や小児科の医師と協力して、定期的に勉強会を実施し、スタッフ教育に力を入れています。



1年目助産師  
福岡 みなみ

### 『新人助産師成長中』

私は新人助産師として地域周産期母子医療センターで働いています。夢であった助産師になり、新しい命・家族の誕生の瞬間に立ち会えることに喜びを感じています。一方、自分自身の知識や技術が未熟のためにわからないこと、できないことも多く苦しい思いをすることもあります。しかし、先輩方の熱心な指導のおかげで少しずつ自信を持って患者さんと関わることができています。また、月に1回の新人研修で、基本的な看護技術と知識の習得ができることも自信に繋がっています。これからも自己研鑽を積み、日々多くのことを学びながら助産師として一歩ずつ成長していきたいと思っています。



モデルナース  
(9年目助産師)  
松廣 美都

### 自分が患者さんだったら 「こういうケアをしてほしいな」という思いを大切に

私はモデルナースとして産婦人科病棟で卒後5年未満の看護師・助産師の後輩育成に取り組んでいます。一人ひとりのスタッフの看護観を大切にしたいと思い、どのような看護を大切にしたいと考えているのか・何に困っているのかを確認するようにしています。はじめは、モデルナースとして後輩に対する関わりに悩む時期もありましたが、私が新人助産師だった頃に、先輩がどのように指導してくれただろう。と振り返る機会にもなりました。

療養スペースの環境整備が行えているか、声かけの一つひとつが患者さんに伝わっているかなど自分自身が看護される側に立った時、どのような看護をしてもらいたいか。ということ常を常に念頭に置き、患者さんと接することを心掛けています。患者さんからの「ありがとう」という言葉の裏には、その患者さんに正しい看護ができた証だと思っています。そういったことを後輩看護師にも身につけてもらえるよう今後も伝えていきたいです。